

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

建物附属設備：定額法

什器備品：定額法

ソフトウェア：定額法

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
普通預金	2,432,000	44,626,000	0	47,058,000
奨学金準備資金	12,960,000	0	360,000	12,600,000
合計	15,392,000	44,626,000	360,000	59,658,000

3. 特定資産の財源等の内訳

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
普通預金	47,058,000	47,058,000	0	0
奨学金準備資金	12,600,000	0	12,600,000	0
合計	59,658,000	47,058,000	12,600,000	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	2,365,000	252,863	2,112,137
什器備品	374,660	374,660	0
ソフトウェア	342,306	342,306	0
合計	3,081,966	969,829	2,112,137

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし